

Fizz Buzz

Table of Contents

1. 仕様	1
2. 設計	1
2.1. TODOリスト	1
2.2. ユースケース図	1
2.3. クラス図	1
2.4. シーケンス図	1
3. 実装	2
3.1. テストコード	2
3.2. プロダクトコード	2
4. 参照	2

1. 仕様

- 3で割り切れる場合は「Fizz」を出力する。
- 5で割り切れる場合は「Buzz」を出力する。
- 両方で割り切れる場合は「FizzBuzz」を出力する。
- 指定された回数だけ繰り返し実行する。

2. 設計

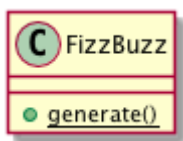
2.1. TODOリスト

- ☐ 「Fizz」を出力できるようにする
- ☐ 「Buzz」を出力できるようにする
- ☐ 「FizzBuzz」を出力できるようにする
- ☐ 繰り返し実行できるようにする

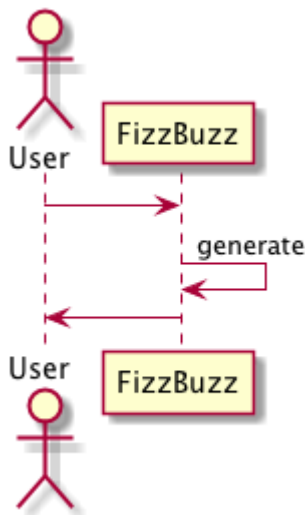
2.2. ユースケース図



2.3. クラス図



2.4. シーケンス図



3. 実装

3.1. テストコード

```
const chai = require('chai');
const FizzBuzz = require('../src/fizz_buzz');

const { expect } = chai;

describe('Tests FizzBuzz', () => {
  it('3ならばFizzを返す', () => {
    expect(FizzBuzz.generate(3)).to.equal('Fizz');
  });
});
```

3.2. プロダクトコード

```
module.exports = class FizzBuzz {
  static generate(number) {
    return 'Fizz';
  }
};
```

4. 参照

- AsciiDoctor[<http://asciidoctor.org/>]
- PlantUML[<http://www.plantuml.com>]